

いのちまもる

キャラバン行動ニュース

第8号

2014年9月29日

日本医労連

TEL : 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

厚労大臣政務官と懇談、要請

9月26日、日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員のご協力の下、中野千香子委員長、三浦宜子書記長、森田進書記次長で、橋本岳厚生労働大臣政務官に対し、日本医労連のめざすべき看護体制の提言について説明し理解を求め、看護師の大幅増員と労働条件改善に政府として積極的に取り組むよう要請しました。



中野委員長は、この間政府厚労省が、5局長通知に続いて6局長通知を発出し、看護師を始めとした医療従事者の勤務環境改善に取り組むよう関係各所に通知したことへの感謝を述べた上で、しかし現状でも長時間夜勤や短すぎる勤務間隔によって、看護師は心身ともに疲れ果てている実態があることを告げ、労働条件改善に対する政府のさらなる取り組みを要請しました。また、ILO訪問の報告も交えながら、看護師など夜業につく労働者に対する保護と勤務規制は国際的にも必要性が明らかとなっており、日本政府の努力も促しました。

橋本政務官は、「医師や看護師から直接話しを聴く機会もあり、勤務環境改善の必要性はよく理解している。今回も省として勤務環境改善のシステムづくりを始めた。」と述べ、引き続き要望を伺いながら対応したいと応えました。



また、めざすべき看護体制の提言についても、「現状の看護師の数からは相当な開きもあるが、説明いただいた内容は理解できます。」と応えました。